



三輪山遠望



大神神社

奈良県桜井市の三輪山は、なだらかな円錐形の美しい山です。

大神神社(おおみわじんじゃ)のご神体そのものですから、この山に登るのも普通のハイキングのような訳には行きません。

まず、「神体山登拝受付所」で小グループに分かれて手続きをし、一人一人「参拝証」を首に懸けます。(後で分かった事ですが、この参拝証は「たすき」と呼ばれているようで、駅伝ランナーのように懸けるべきだったのでしょうね) 付いている鈴が爽やかな音を響かせます。



タスキを首に懸けてしまいました



参拝道の入り口

注連縄をくぐって、参拝道に入ります。そこから先、写真撮影は禁止。また見てきた様子を詳しく話す事もできません。きわめて簡略に云えば、道の両側は樹林で、眺望は殆ど開けず。道はかなり険しく、以前登った琵琶湖北の賤ヶ岳よりきついの声もありました。

(三輪山は高さ467m、桜井市のあたりは標高7~80m、400mを一気に登る訳です) 山中には、深い谷川や水垢離をする滝もあり、大きな岩の連なる「磐座(いわくら)」も点在し、特に山頂の磐座は奥知れず深く続き、神さびた所でした。

往復およそ2時間。この日の参加者は男性10名、女性5名、頂きを目指したのは12名で、3名は広大な大神神社境内を散策し、名物三輪素麺の「にゅうめん」を賞味したという事でした。昼食後は、藤の花の美しい山の辺の道を北へ、散策を楽しみました。



山の辺の道



奥にかすかに二上山、手前に箸墓古墳

一帯は日本古代史の舞台。二上山の遠望、点在する巨大な古墳の眺めを楽しみながら、午後3時過ぎ、JR万葉まほろば線の巻向（まきむく）駅で解散しました。

\* \* \* \* \*

蛇足ですが、「まきむく」は「纏向」とも書き、駅周辺の田畑の下に、3世紀の広大な遺跡が眠っています。邪馬台国の卑弥呼の宮殿かと言われる建物跡もあり、5年前の発掘では大型建物の跡から、祭祀に用いられたと見られる2千個以上の古代桃の種が発掘されています。

蛇足を重ね恐縮ですが、私のアルバムの中からその時の現地説明会の様子をご紹介します。



発掘された桃の種



JR巻向駅前の発掘現場（2010.10）

\* \* \* \* \*

燦歩会では、入念な下見を行い、中途離脱も可能なルートを設定して、毎月第4日曜日に歩いています。

メンバーはおよそ50名、その日の都合と体調に合わせて自由参加です。

(切符や食事の予約が必要な例会も時々あります)

今後の予定です。多くの方の参加をお待ちしています。

5月 阪神大震災を忘れない(兵庫)

6月 北摂・長谷の棚田(大阪)

(7月 暑さのため休会)

8月 忠太郎の番場宿～醒ヶ井の梅花藻(滋賀 青春18切符)

9月 河内飯盛山城跡(大阪)

10月 秋の 白山白川郷ホワイトロード(白山スーパー林道)(一泊)

11月 紅葉の根来寺(和歌山)

(12月 納会)

1月 近江神宮(滋賀 初詣)

2月 北野天神から御土居を歩く(京都)

3月 高安山から信貴山へ(大阪～奈良)

入会大歓迎です。

参加ご希望の方は、山村恵一さんにご連絡下さい。(0743-20-4159)

一緒に、気軽に、楽しく歩きましょう。

(近畿旧友会 おじま 生島)